

TATSUMI COMICS

劇画

家畜人ヤプー

【無条件降伏】編

監修/石ノ森章太郎 作画/シュガー佐藤 原作/沼 正三



【無条件降伏】編のあらすじ
THE DOMESTIC YAPPOO

ヤブ ム 子宮畜として昇天したカヨは、あこがれの俳優クリントが
突然部屋を訪れたことに驚いていた。彼女は、彼に処女を捧
げる決心をする。その前に7人の男に口で奉仕し承認を得て、
ついにクリントとベッドイン。失神して目を覚ますと、ポー
リーンに、妊娠したことを告げられた。あのクリントは、変
身した子種付けキャノン・ダイシーだったのだ。

ドリスの部屋では、刑に服して搔痒小畜となったリックが、
ドリスの足指を噛んでいた。1年前までは結婚を考えていた
リックに、女王陛下と貴族婦人120人の秘所の動画集を秘密
出版した容疑で有罪判決が下されたのだ。10年後、刑期を終
えたリックはドリスを訪れ、再び縮小畜にしてもらいたいと
懇願した。彼女に仕えていた日が忘れられないのだ。ドリス
の夫フランクは、実はリックを隠れた張本人で、このときも
ドリスに彼を極小畜にするように勧めた。

クリスタル・パレスでは、宴の準備が着々と進められ、厨
房には食用畜かいた。イースでは、鯨が魚に似て魚でないよ
うに、ヤブーも人間に似ているが、人間でないという考えが
浸透し、食用にしていたのだ。クララは強い衝撃を受けたが、
それを一口食べると、美味しさに感心してしまった。
宴がはじまった。尻頭畜と呼ばれるヤブーが椅子の役割を
し、主人に従っている。会場では、閹畜が行われており、閹
畜士が見事、閹畜用畜人を倒し大きな拍手を浴びた。

デザートは黒奴6人に対する裁判だった。招待客はグルー
プに分かれて、ボーリングやポーカーなどで、彼らの判決を
決めた。功績があった黒婢には、中の1人をヤブー化して授
与される。果して彼女が、恋人だった男を肉便器にできるか
という賭も同時に行われる。客のほとんどは、「できない」に
賭けたが、クララは婚約者だったリンをセッチンにする決心
を固めたことから「できる」に賭けた。黒婢は、「できる」と
答えた。48口中正解は6口。正解者は、クララ、ウィリアム、
アンナの3人ですべてがリンとの関係を知る者ばかり。彼ら
は、賞金を婚約祝いにクララにプレゼントした。平民が一生
かかっても稼げないほどの多額のお金をクララは手にする。
この先、イースの大貴族として栄華を極めるコトウィック家
の財産がまずここで形成された。

クララは宴の後、リンを自室に呼び出す。今日ひと財産築
くことができたのは、ある意味ではリンのおかげでもあるか
ら、褒美を与えようと考えたのだ。褒美は、元の身体にして、
元時代へ送り返すことだった。リンは、クララの優しさに
涙を流す。そして、ひとつの決心をする……………。

この作品は辰巳出版より刊行された「劇画家畜人ヤプー」(全4巻)を完全再現したものです



劇画家畜人ヤプー「宇宙帝国への招待」編

作/石ノ森章太郎 原作/沼正三
272頁/左綴じ/1983年1月より刊行

2000年後、日本人は肉体改造され白人女性の
快楽の必需品と化す!

劇画続・家畜人ヤプー「悪夢の日本史」編

監修/石ノ森章太郎 原作/沼正三 作画/シュガー佐藤
240頁/右綴じ/1984年1月より刊行

「古事記」「日本書紀」の記述を覆す、驚くべき想像力。
天照大神は…美貌の…



劇画家畜人ヤプー「快楽の超SM文明」編

監修/石ノ森章太郎 原作/沼正三 作画/シュガー佐藤
248頁/右綴じ/1993年5月より刊行

ついに人間消費時代、はじまる!?
未来世界の黙示録、いよいよ佳境へ。

劇画家畜人ヤプー「無条件降伏」編

監修/石ノ森章太郎 原作/沼正三 作画/シュガー佐藤
248頁/右綴じ/1994年3月より刊行

空想の快楽(原作)から視覚(劇画)の興奮へ。
長きに渡った物語がクライマックスを迎える。



電子書籍版

劇画家畜人ヤプー「無条件降伏」編

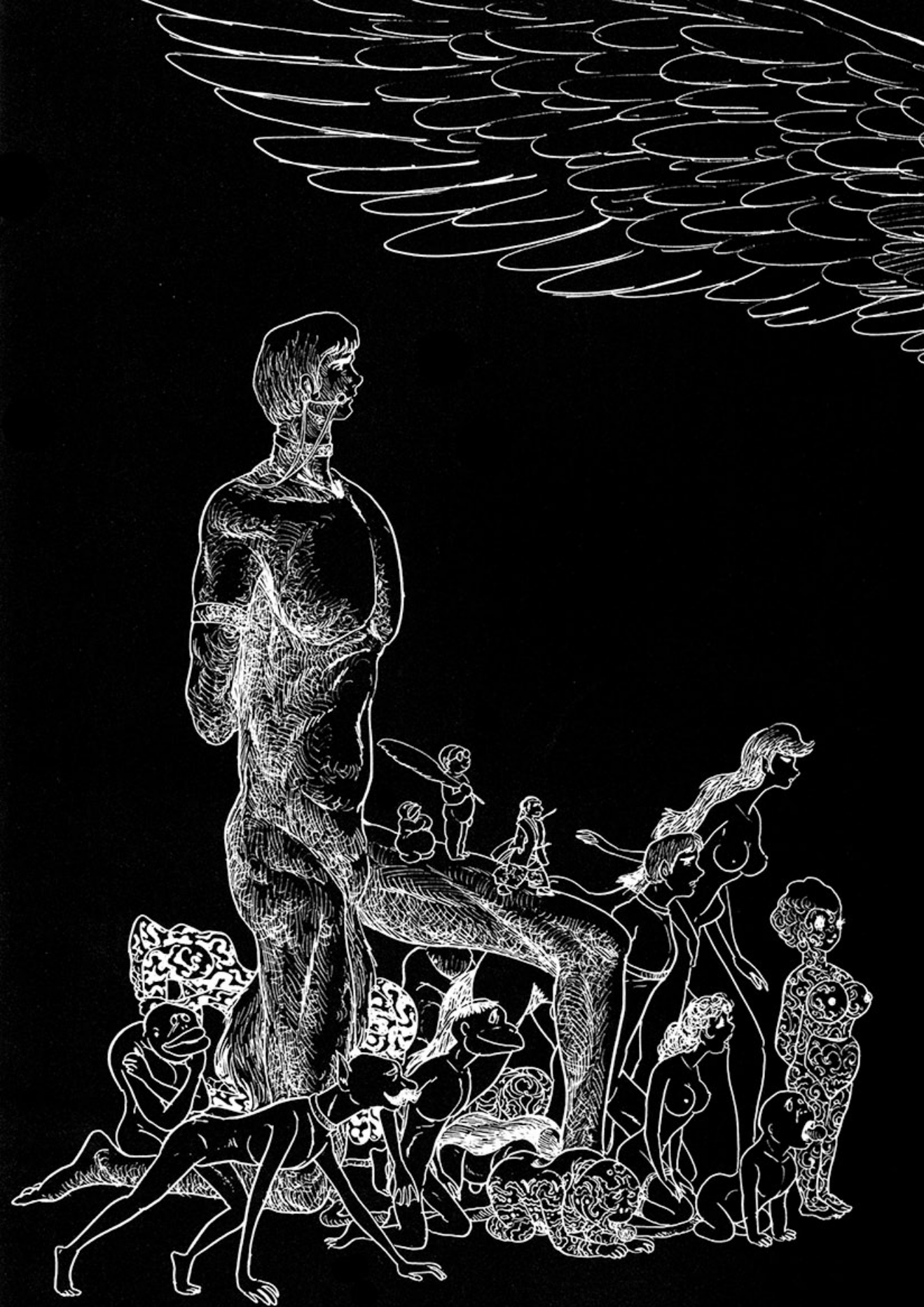
2014年4月1日発行

発行人: 廣瀬和二

発行所: 辰巳出版株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目15番14号 辰巳ビル



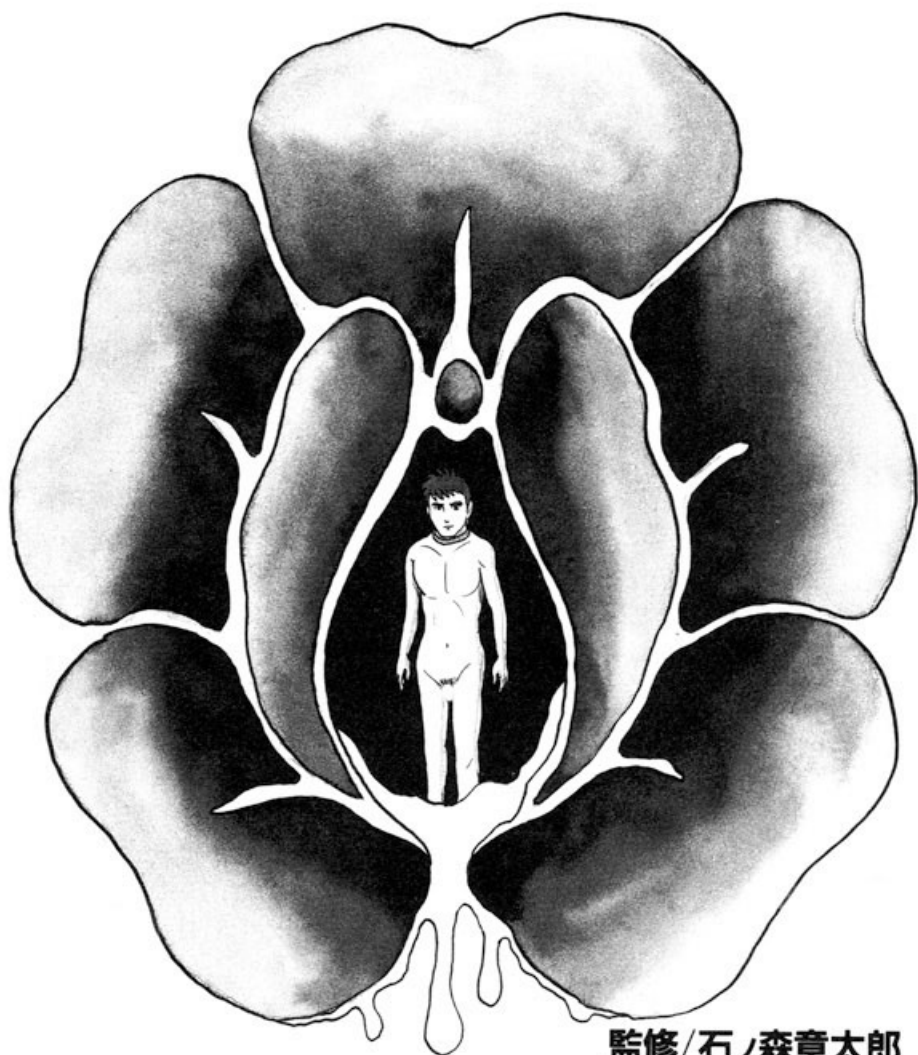


TATSUMI COMICS

劇画 *THE DOMESTIC YAPOO*

家畜人ヤプー

【無条件降伏】編



監修/石ノ森章太郎
作画/シュガー佐藤
原作/沼 正三

第二十七章 郭公手術

8

1. 子種採取
2. 名譽白人カヨ
3. クラブ『グランズ』
4. 子種移植

第二十八章 ドリスとリック

34

1. 誘拐計画
2. 秘密のアルバム
3. リック裁判
4. 縮小刑

*十年後のドリスとリック

54

1. 星間オリンピック
2. 夜の訪問者
3. リンナタム

第二十九章 宴の前

70

1. はじめての盃
2. 尻頭畜・厨芥畜・掃除畜
3. 食用畜
4. コーンピア物語
5. まくろのテツ
6. 日本秘史
7. 神を養うものたち

第三十章 饗宴

106

1. 晩餐会
2. 犬芸披露
3. 神話伝説の人々
4. 局在神信仰
5. 愛の橋

瀬部麟一郎(麟)



西ドイツ留学中の日本人学生。未来帝国イースに連れられ婚約者だったクララの家畜にされてしまう。イースにおける日本民族末裔の現状を知り、強い衝撃を受ける。

クララ・コトヴィッツ



ドイツ名家の出で天涯孤独の身。リンを救うためにイースへ行くが、イース青年ウィリアムに惹かれ、人間としてのリンを捨てる。宴でウィリアムと婚約を発表する。

ポーリン・ジャンセン



イースの大貴族で女検事長。黄色人という理由でリンを家畜に貶め、クララの心も変えさせた。クララにイースへの帰化を勧め、物心両面の援助を惜しまない。

ウィリアム・ドレイ・パ



ポーリンの義弟。イース男性としては珍しい活発な青年。イース女性に比べて控えめなクララを前史時代人と見抜くが、そんな彼女に一目惚れし騎士役を買って出る。

第三十二章 宴の余興

154

1. 闘畜シヨウ
2. オツズ七対一
3. デザート裁判
4. コトウイック家産初期形成

第三十三章 無条件降伏

203

1. 最後の選択
2. 大股開き
3. イース讚美
4. 忘執の果て

前回までのあらすじ

寄稿「ジュンとヤプー」天野哲夫

EHS圏用語索引

246 241 4

アンナ・テラス

前地球都督でイース一の美女。失踪した妹を探し、訪れた古代日本で天照大神として崇められる。クララとウィリアムの婚約に際して、『初夜の手帳』の証人になる。



ドリス・ジャンセン

ポーリーンの姉で、アペルデーンの家馬チーム主将を務めるスポーツ・ウィマン。かつては結婚も考えたボーイフレンド・リックの身柄を引き取り、極小畜として飼う。



リチャード・クロフォード

名門クロフォード家の子弟。恋敵のフランクに陥れられ、有名な『リック裁判』で有罪判決を受ける。ドリスのことが忘れられず、釈放後自分の身柄をドリスに預ける。



子宮畜カヨ

フジヤマ飼育所で子宮畜として選ばれ、イース世界に昇天。そこで、キャノン・ダイシーに子種移植をされ、ポーリーンの正式な子宮畜となる。名誉白人の意識を持つ。



前回のあらすじ

二千年後の未来社会。時間と空間を征服した人類の宇宙帝国イース(EHS II the Empire of Hundred Suns)の幾百もの遊星領

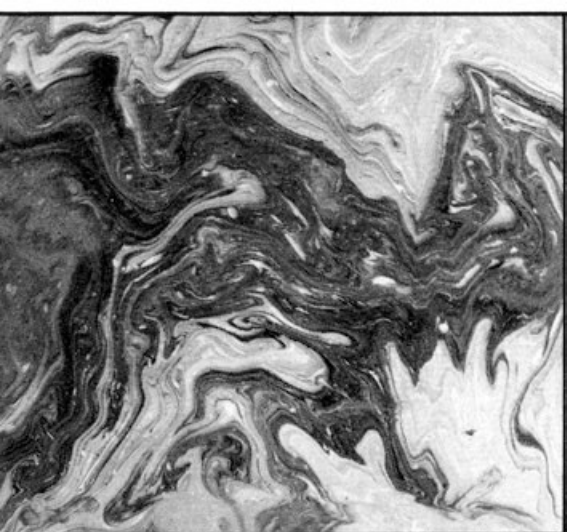
には、英王統の子孫が女王として君臨していた。女性が政治・経済・軍事・司法等の社会活動の一切を掌握。男性は学問と芸術を事とし、家庭では妻に隷属する。この女権制は、貴族・平民の両階級に及んでいた。政体は貴族政治で、千の大貴族とその百倍の小貴族が、その十萬倍の平民を統治していた。正規の国民はすべて白人で、その下に白人に数千倍する黒人奴隷階級があり、さらにその下に黒奴数の何百万倍の黄色家畜人ヤプーが飼育されている。

黒奴は、多少の人権を認められているが、ヤプーは「知性猿猴」と見なされ、家畜として使役・愛玩・消費されている。人権のないヤプーの肉体は自在に変形され、想像も及ばぬ無数の変種を作り出した。畜人犬、畜人馬、河童などの新種の家畜。独立行動性を限定された肉便器・肉痰壺・肉反吐盆などの生体家具。さらに、生体接

着糊で複数を連結した肉寝台・肉椅子・肉浴槽等があり、また読心能を与えられた読心家具、体長十五センチの矮人、三・五センチの極小畜も広く使用されている。

こういう変形を受けないのを原ヤプーという。原ヤプーは人の形を維持してはいるが、生理的に変質させられている。皮膚処理で寒熱に耐える能力を得る反面、裸体を強制される。腸内にはエンジン虫を寄生させ、口腔は摂食の用途から解放された。

そこで、白人―黒奴―黄畜間に三色摂食連鎖が成立する。白人の便はヤプーの薬に、尿は黒奴酒になる。黒人のものはすべて畜乳本管に流れ込み、イース世界の一切の不



浄不用品と混和してヤプーの餌料となる。

ヤプーたちの精神的基礎は白神信仰である。主神崇拜と局在神信仰があり、内容は違うがヤプーは白人種を神として礼拝している。これに対し、黒奴を服従せしめているのは恐怖であり、日記報告の制度である。生産労働を機械と黒奴に任せ、自らはギリシャ風の美的生活を楽しむ白人、ことに貴族たちの日常を快適にするため、知性ある家畜人ヤプーは、イースを織りなす細密画のような密度で多方面に利用されていた。

一九七七年、英国が開発した光速宇宙船「栄光号」が宇宙に飛び立った。人馬座の星圏に比較的地球と環境の似た遊星を発見。その原住民たる有翼四足人たちを撃ち破り、この星「新地球」を女王陛下に捧げた。

一九八〇年に第三次世界大戦が勃発。そのときに使用された超水爆α爆弾の放射能と細菌弾による熱は、世界の人口を一挙に四十分の一にしてしまった。

一九九一年、壊滅状態の地球を捨て、十万人が移住のため「新地球」へ旅立ち、紀元二〇〇〇年には労働力として、黒人二十

万人が連れ出された。

二〇六七年、イースの宇宙艦隊が現れ、汚染されたこの星を浄化した。

このとき、日本で生存者が発見され、驚きを呼んだ。ゴリラか猿人と思われる容貌と姿態で野蛮な穴居生活を送っていた。動物本能ばかりの白痴、そして奇形。本国星に送られることになったが、輸送の担当責任者は責任を軽くするため人間でなく、動物として扱うことにした。理論的には、彼らは元来が類人猿であり、白人文化を猿真似していたのだが、白人文化を離れてたちまち本性を暴露したのだ、と主張された。健全者についても同様の処遇を与えられた。その頃、日本人の代表から、独立国建国の要望があった。指令部は、奴隷資源確保のために住み慣れた日本列島に彼らに移し、保護国としたが、実は、密かに管理された養殖場。これが、新国家『邪蛮』である。

イース帝国の大貴族、ジャンセン家の侯爵女ボーリーンは、自らも検事長を務める貴婦人。航時艇で過去世界を遊歩中、一



九六×年の地球面に墜落した。居合わせたドイツ娘クララとその婚約者の日本人留学生麟一郎(麟)は、ボーリーンを救うが、麟が畜人犬に咬まれて動けなくなった。

このためクララは麟を癒すべく救援の航時田筒船『氷河号』に一緒に乗り、二千年後の地球面のジャンセン家別荘に行くことになる。だが、この突然の未来旅行がクララと麟の運命を大きく変えることになった。麟は皮膚の色からヤブー扱いされ、皮膚処理をされる。逆上した彼はクララと心中しようとして失敗し、去勢される。

一方、クララはボーリーンの異兄妹でスボーツ・ウーマンのドリスや、家畜文化史

研究家の兄セシル、やはり名門の出でボーリーンの義弟にあたるウィリアム・ドレイパアに紹介され、歓迎され、霊液ソーマを飲んで、帰化の決心を固める。

翌朝、麟は家畜適性検査を受ける。ウィリアムに愛情を感じ始め、麟をヤブー視するに至ったクララは、麟を自己所有の土着ヤブーとして畜籍登録し、尿洗礼を施す。子宮畜を購入するのにアンナの助言を得ようと、ボーリーンは、空中列車『竜巻号』で飛行島高原に向うが、ウィリアムとクララも同行することになった。クララの横たわるソファの中には、彼女が知らぬうちに麟が吊られ、馴致されていた。

麟は、馴致椅子に吊られながら、昨日までの婚約者で今日の女主人たるクララの名を一心に念じていた。これから、麟はクララの視聴を己が見聞としてされることになり、「祈りは聴かれる」からである。

空中列車はカラコルム山脈K2に停泊中の飛行島に到着。関東平野の四倍の規模を持つ飛行島の大雪山スメラの山麓にある遊

おお！わが魂よ、
出発するかとどまるか、
お前は自分で決めねばならぬ。

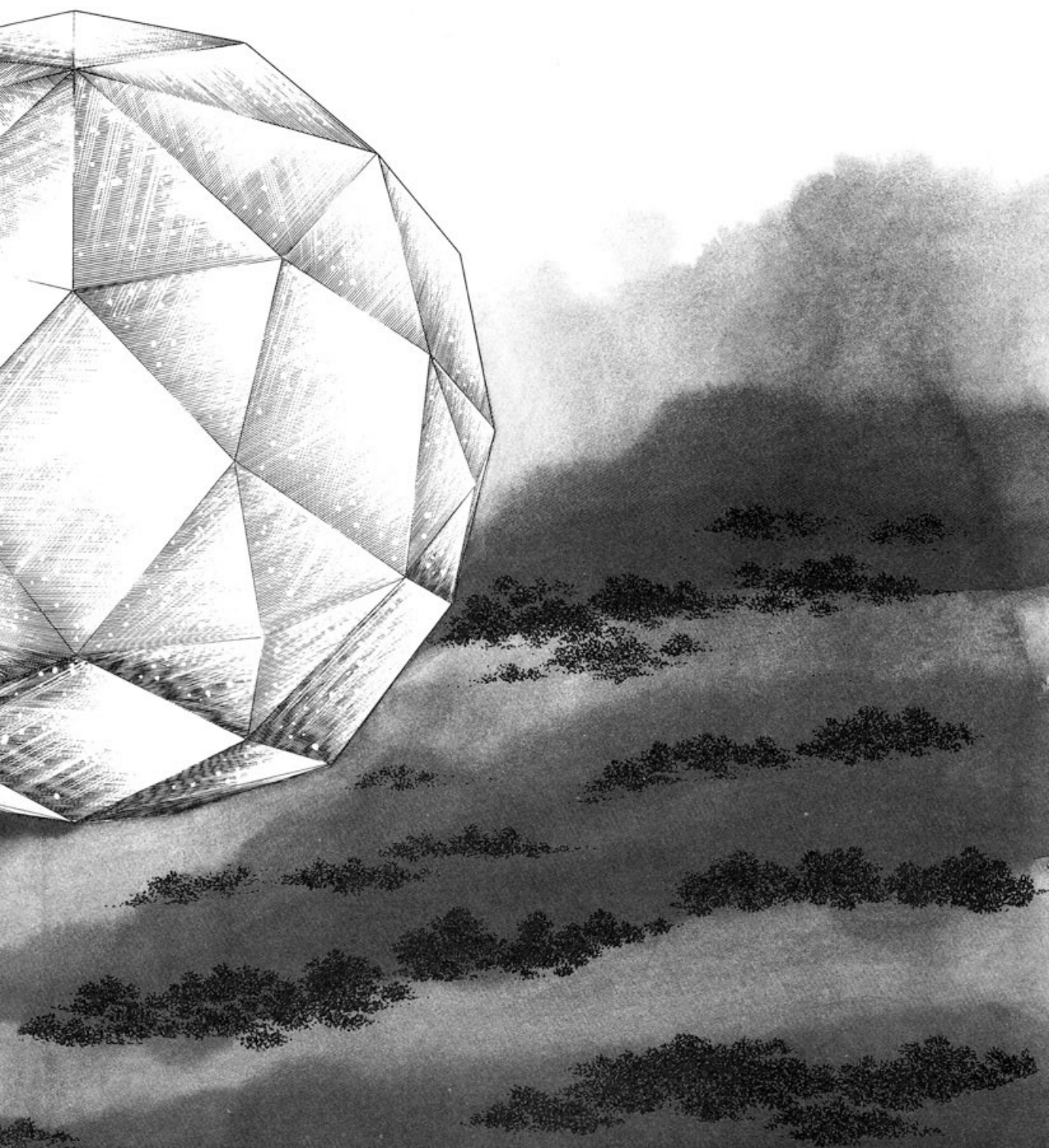
アンリ・ミシヨール『嘔吐』

あるいはやってくるのは死か？

(小海永二訳)

だい しょう
第27章

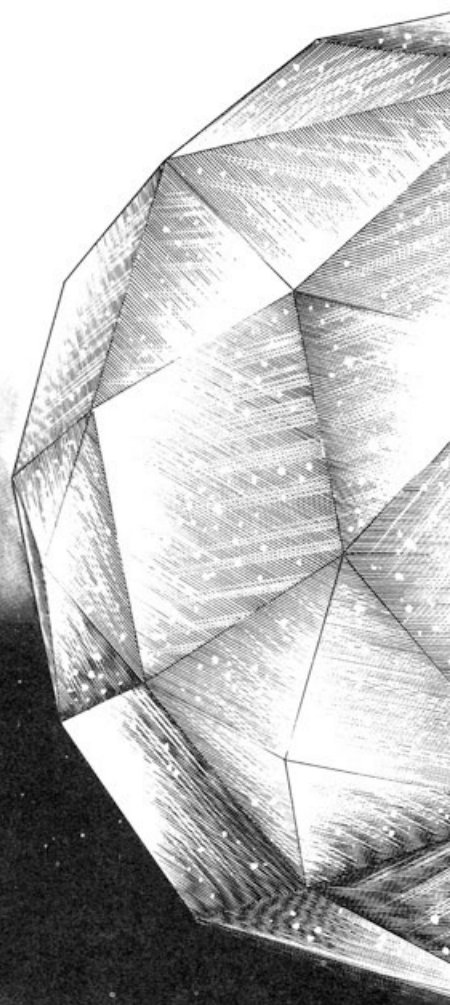
ク ツ ク ー ・ オ ペ
郭公手術



水晶宮

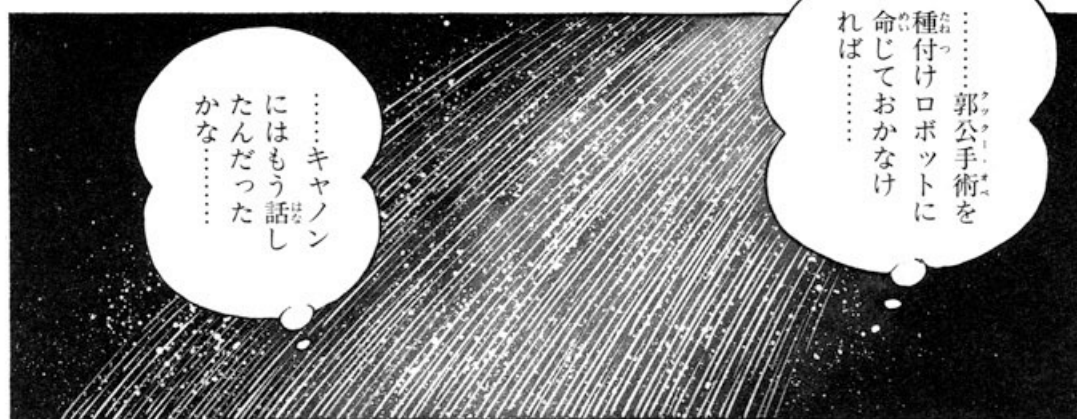
クリスタルパレス

シリール島にある
六十キロ四方の地に
あり、ジャンセン家の
別荘である。
地上は芝生でも、
地下には驚くべき
文明世界が開けている。



1. 子種採取





……郭公^{カクコウ}手術^{テジュツ}を
種^{タネ}付け^{ツケ}ロボッ^{ロボ}トに
命^{いのち}じておかな
ければ……

……キャノ
ンにはもう話
したんだっ
かな……



若奥^{ワカウケ}様
旦那^{だんな}様
がお見
えで
ござい
ます。

まあ

ボブ。





貞操帯

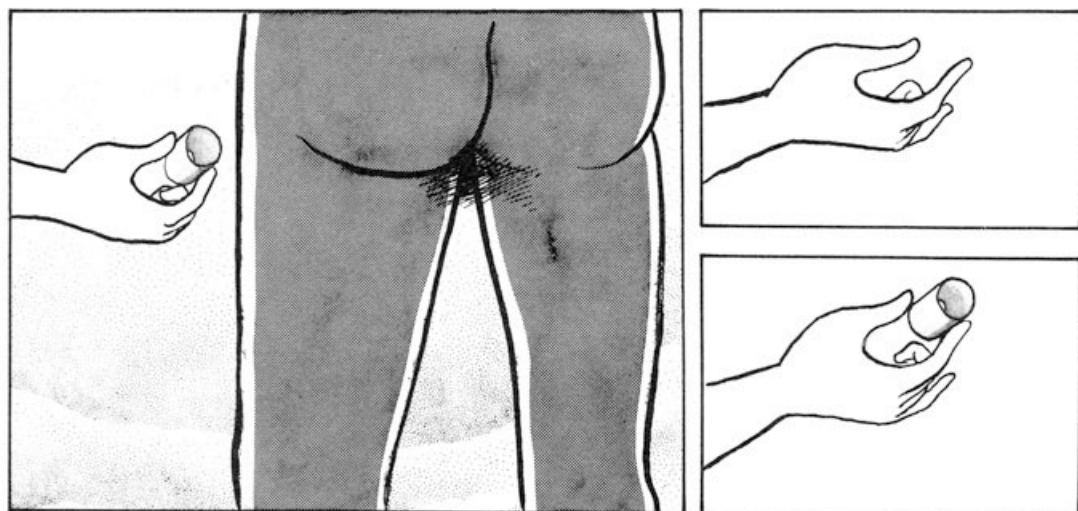
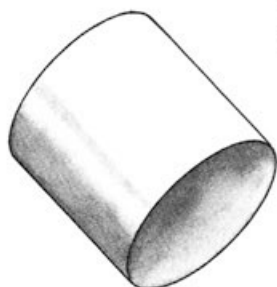
チヤス・タイ・タイ・ベルト

ペニスの根元から三センチほどを薄い肉質金属の筒で巻くだけである。

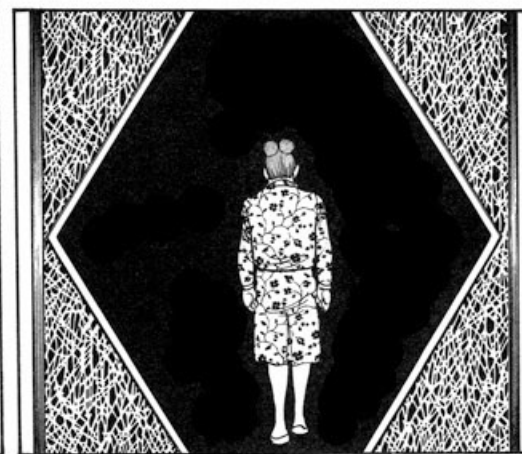
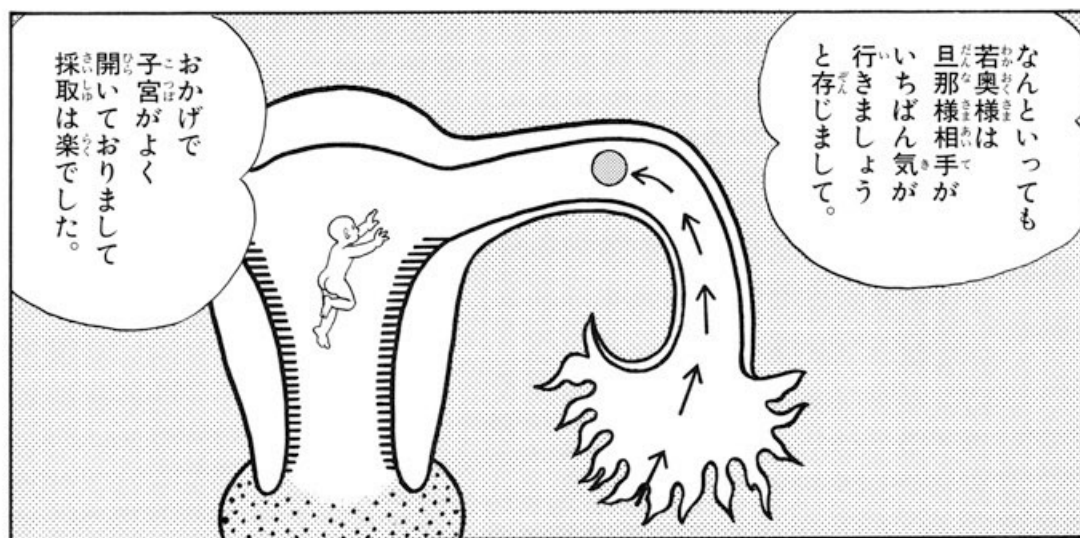
日常生活には排尿その他、なんの不都合もなく、根元まで啜えるセツチンは気付くだろうが、人目には裸になってもそれと分かるまい。

しかし、ペニスの膨脹は許されないから、セックスはできない。

そして、指紋錠で施錠してあるから、ポリーリン自身の手で解錠してやらない限り、彼は孤閨を守らざるを得ない。

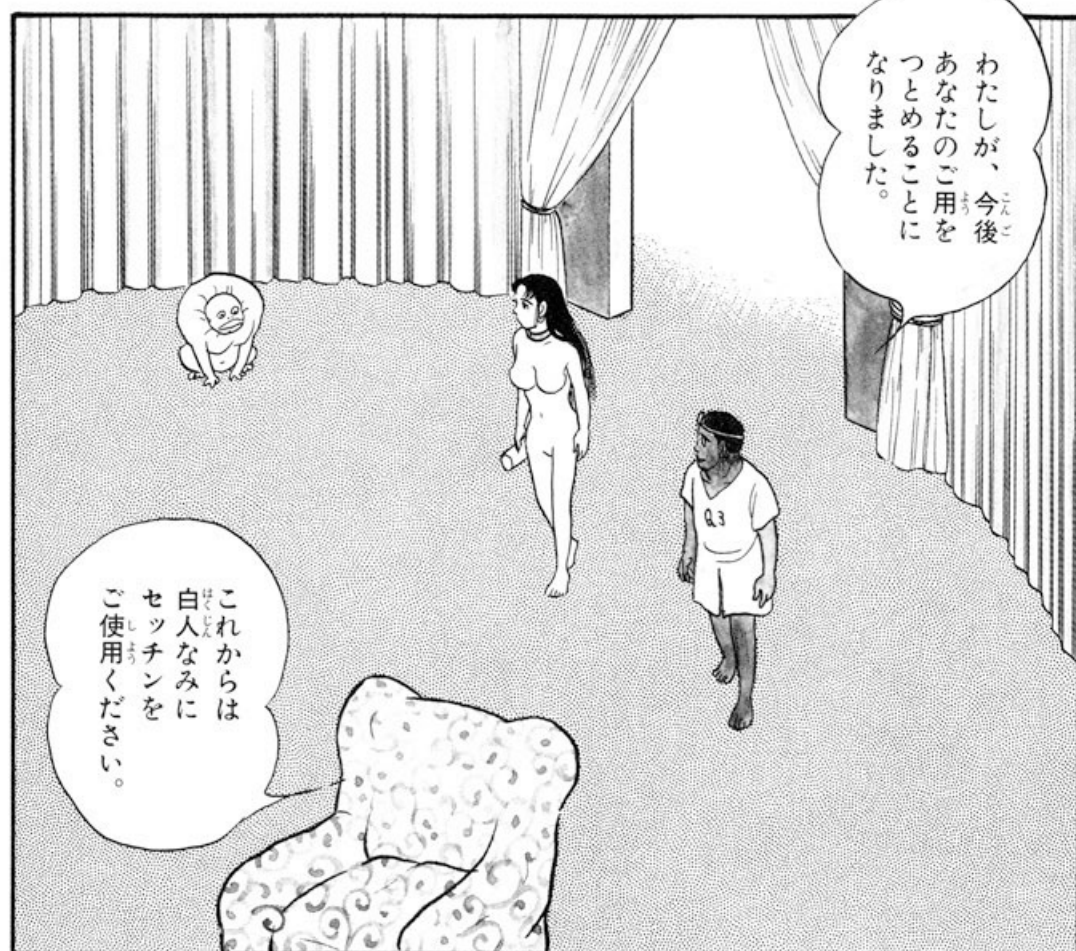
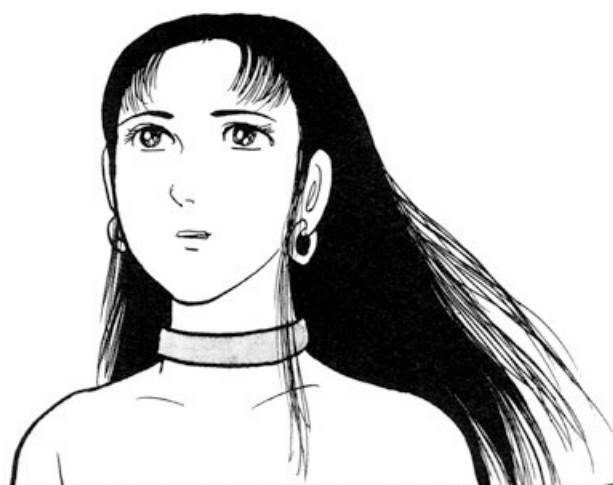






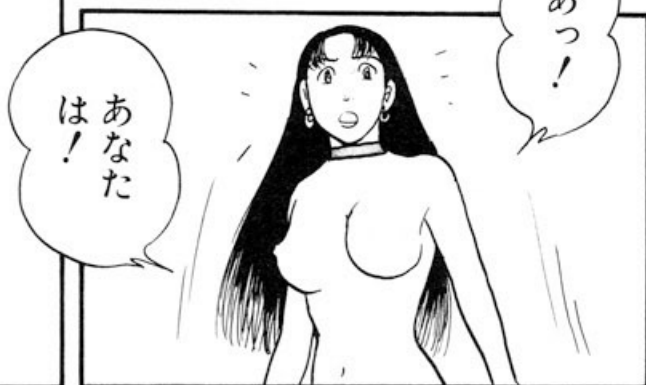
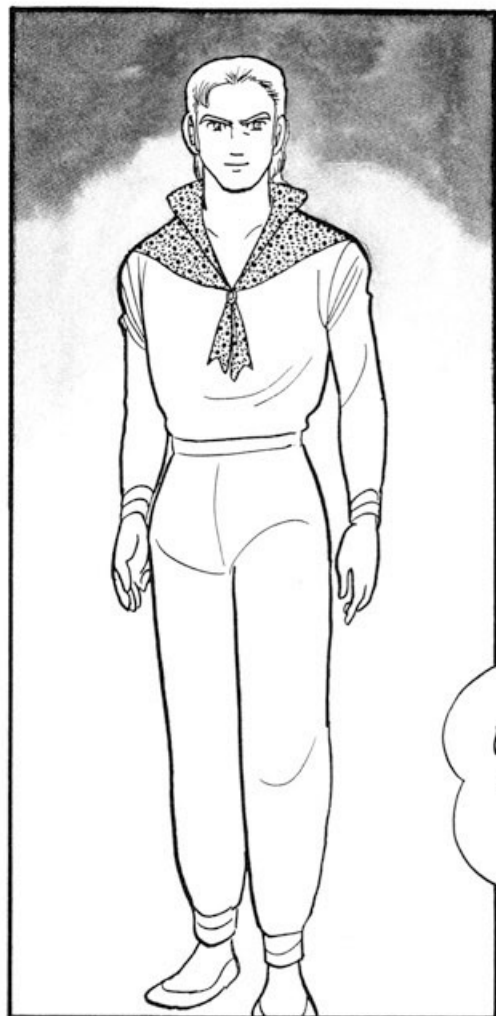
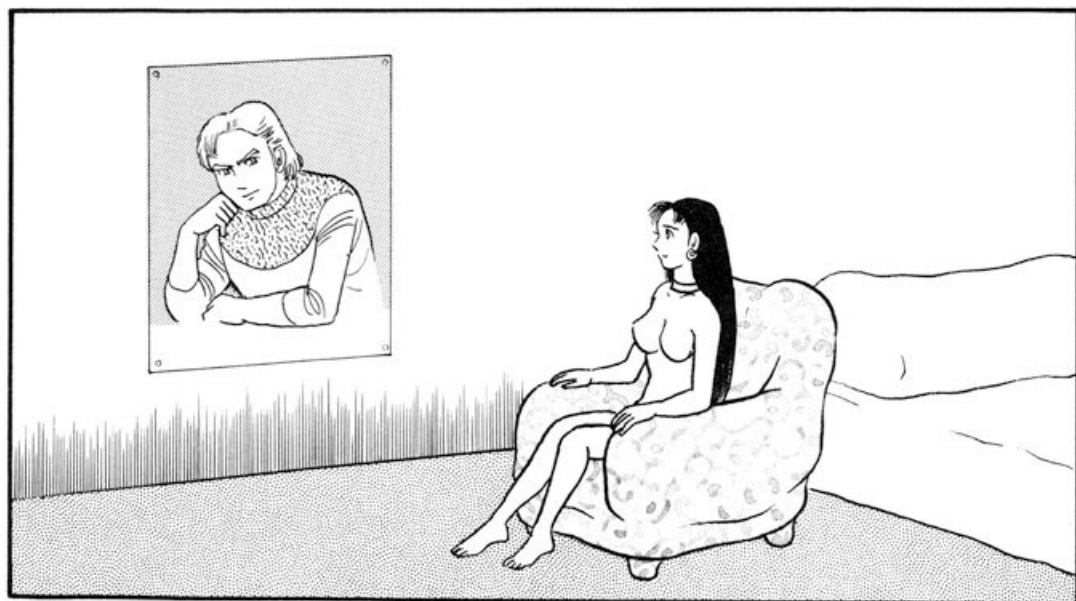
オナラリ・ホワイト

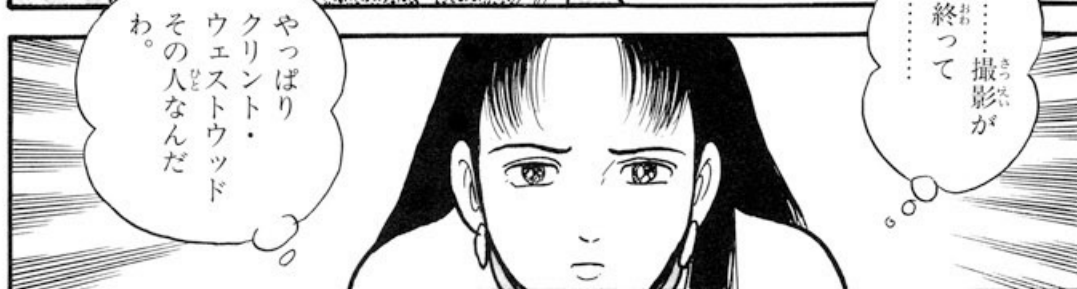
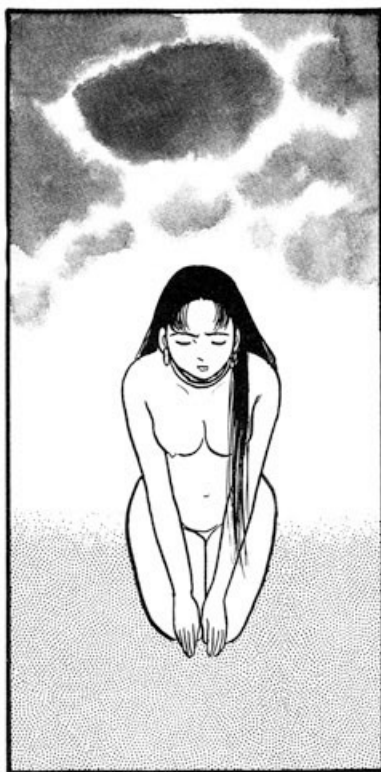
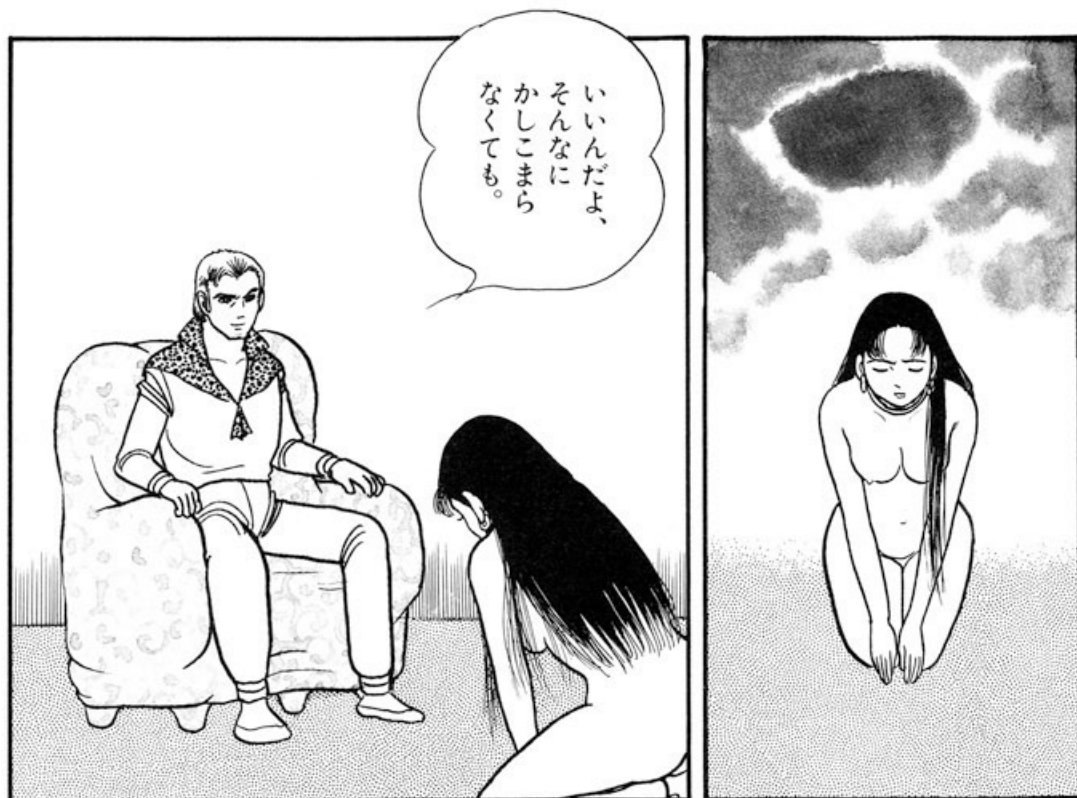
2. 名誉白人カヨ



わたしが、今後
あなたのご用を
つとめることにな
りました。

これからは
白人なみに
セツチンを
ご使用ください。







この若夫人、
ポーリーンさんに
頼まれたんだ。

きみを女に
してやって
ほしいってね。

男を知った身体で
ないと、ちゃんと
子種を授け
られないからね。

きみと床入り
するために
七人の保証が
いるんだよ。

その前に
ドリンクで
元気つけ
よう。



イースでは
名誉白人の女性が
白人男性とベッドイン
するときは、名誉の
テストっていわれる
ものを受けなければ
ならないんだ。

要するに、ベッドで
ちゃんと男の役に
立つか、ベッドに入る
前に証明する義務が
あるんだ。

それは上の口で
行われる。

ぼく以外の
七人の男が採点
して、その合計が
一定の基準に
達していなければ
ならない。

ぼくが採点すると
甘くなるからね。



えっ、

クリント、
あなた以外
の男を
七人も。





3. クラブ「グランス」

